



## 社会福祉センター

市内に住む60歳以上のお年寄りや、体の不自由な人、母子家庭の人たちの憩いの場として、広見荘が昭和47年9月に、田子浦荘が昭和55年3月に開所しました。

両荘とも、大広間、会議室、大浴場、和室、機能訓練室、あんま器のある機能回復コーナーなどがあります。

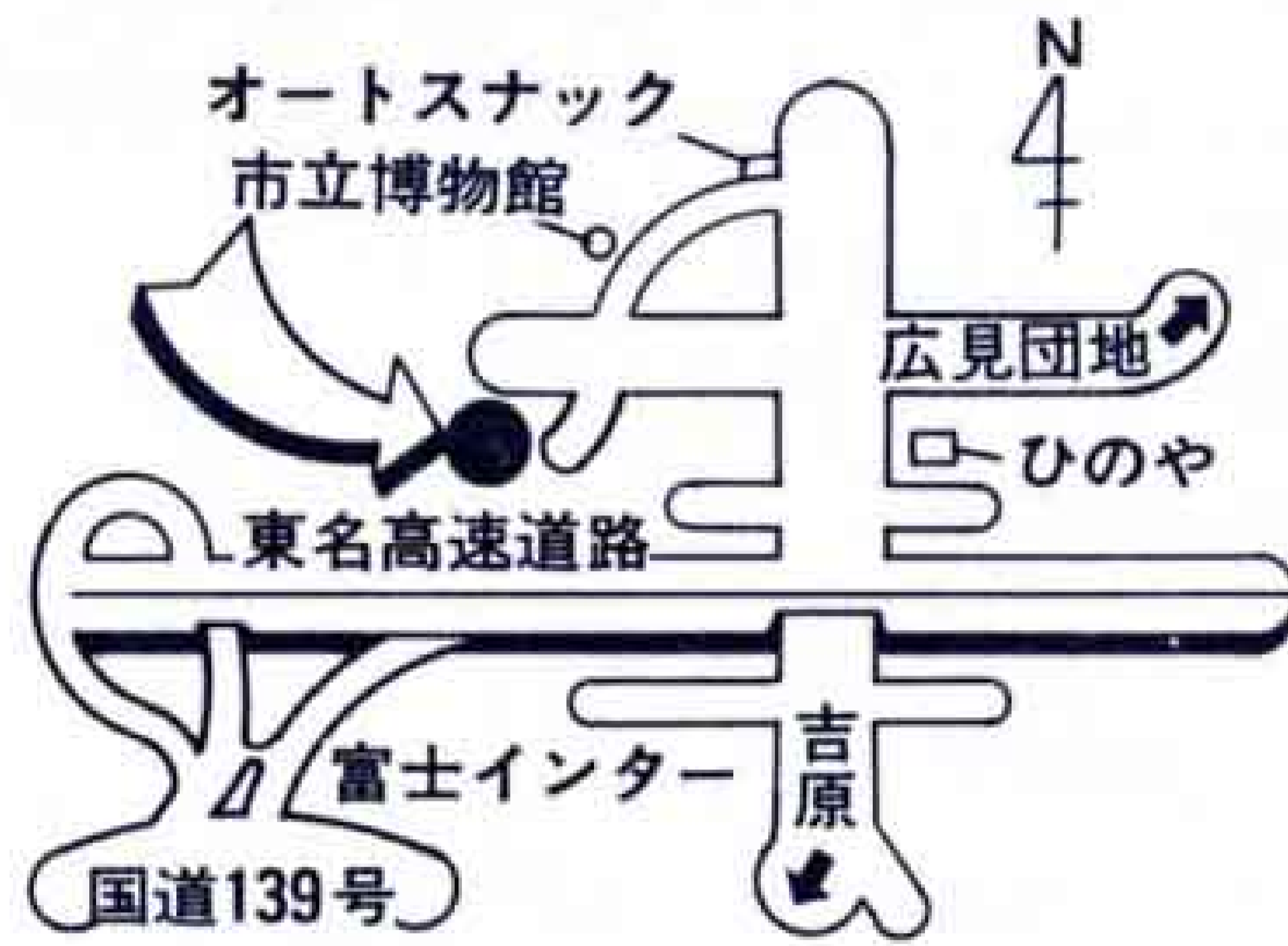
特に、静電気を利用したヘルストロンは、血行をよくし、動脈硬化の防止などに効果があるので人気が高く、順番を待つお年寄があとをたちません。

この施設の使用料はすべて無料です。

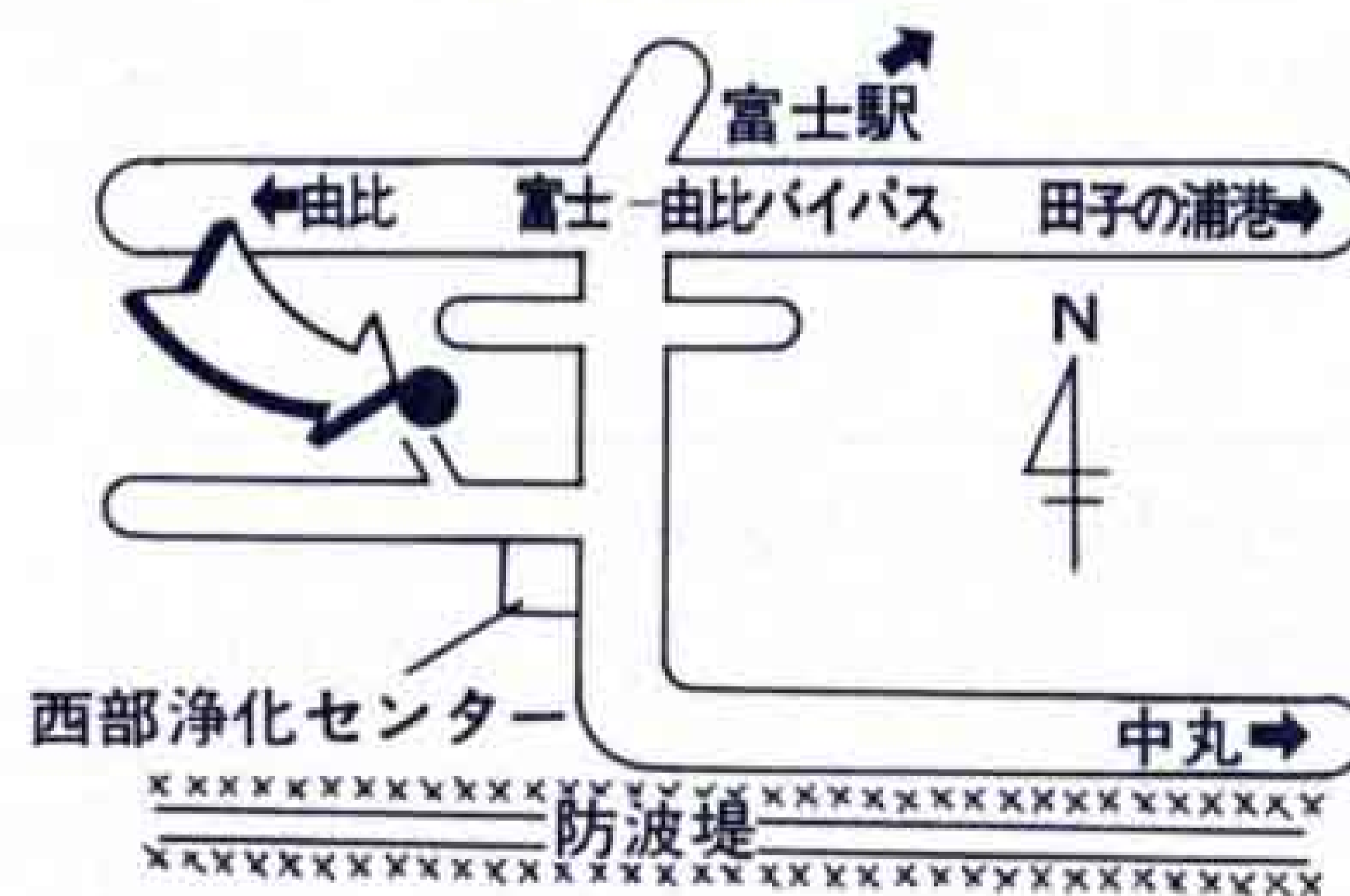
- 開館時間は
  - 冬時間（11月1日から3月31日）  
午前9時から午後4時まで
  - 夏時間（4月1日から10月31日）  
午前9時から午後4時30分まで
- なお、田子浦荘には無料で利用できるプールがあります。夏にはご利用できます。



広見荘



田子浦荘



## 表紙のことば



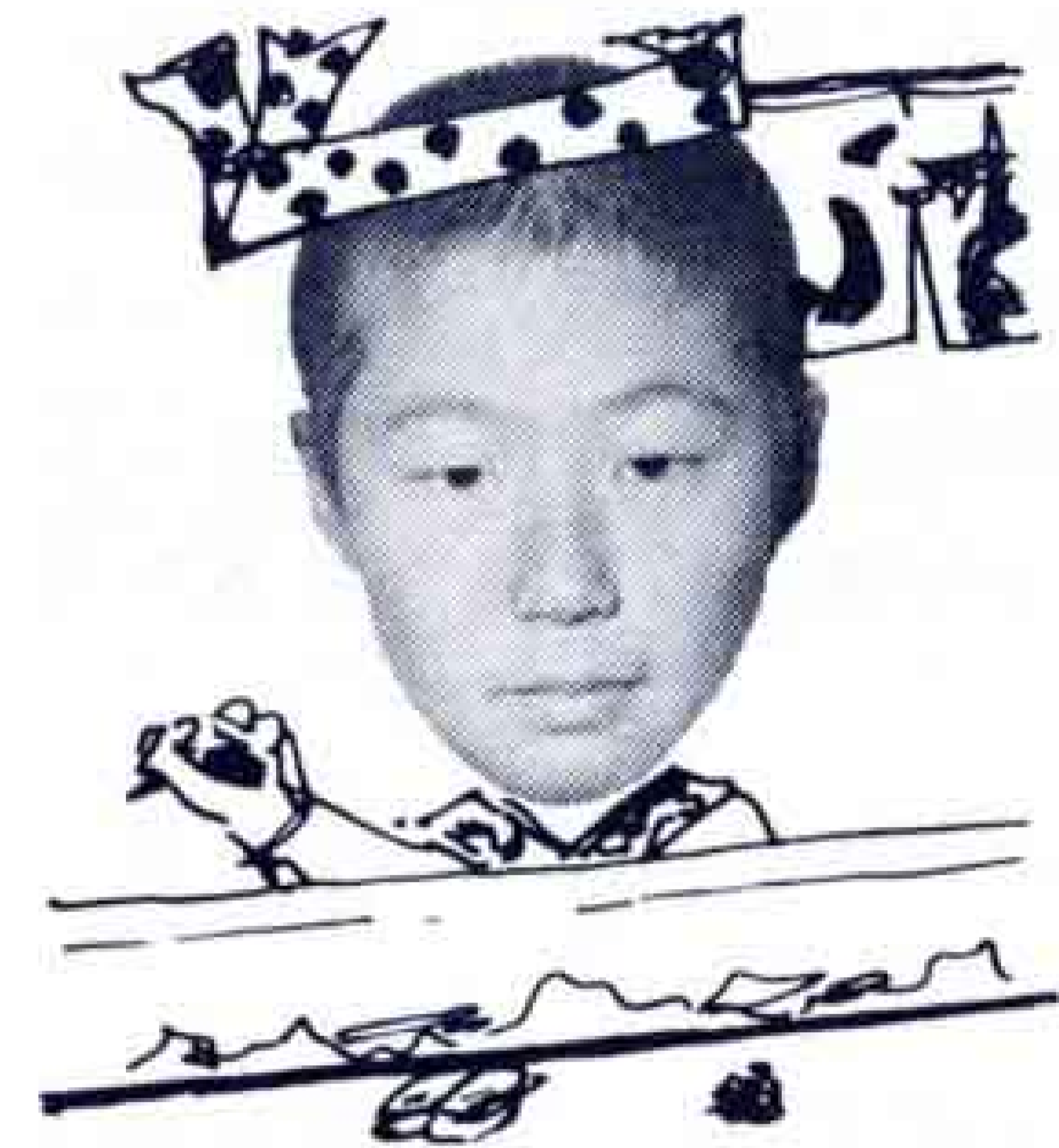
吉原2丁目  
加藤茂秋さん（80歳）

「ふとん作りのコツは、綿を平均して入れることです。」と、この道50年の加藤さんは話します。明治34年11月8日生まれ。この11月に80歳の誕生日を迎えたばかり。今年の富士市技能功労者の中では、2番目の高齢です。

現在の店を昭和3年に引き継ぎ、それ以来奥さんのひろさんと、ふとん作りひと筋に生きてきました。

## ぼくの夢わたしの夢

おすし屋さんになりたい

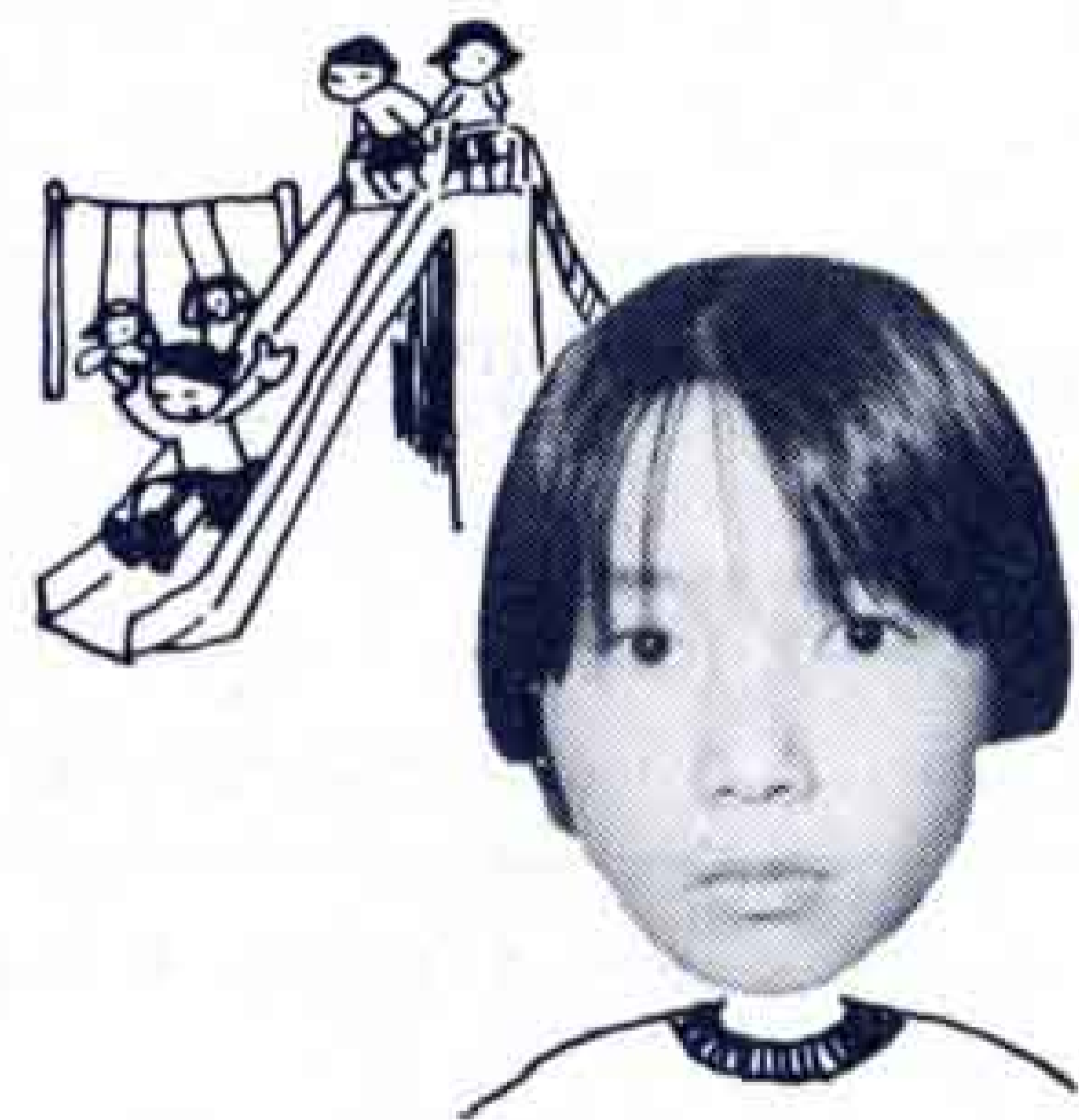


今泉小 六年  
飯田康男君

ぼくの将来のゆめは、おすし屋さんになることです。なぜかという、お父さんがおすし屋さんをやっていることと、もう一つはいろいろなおすしを作りたいからです。

早く大人になってお父さんの店をつぎたいなあ。そして、クラスの友達や先生を呼んで、うでによりをかけておいしいおすしを食べさせてやりたいなあと思っています。

保母さんになりたいな



今泉小 六年  
柴原千世さん

私の夢ってたくさんありますが、しょうらいは、保母さんになりたい。小さい子のあい手をしたり、いっしょに遊んだり、とっても楽しそう。

保母さんになれたら私は、やさしくて、こわくっておもしろい先生になりたいと思います。小さい子にやさしく、いたずらや悪いことをしたら、きつくしかって楽しいクラスにしたいな。そんな先生が私の夢です。